

聖書研究

8月3日のレッスン

神の建物

鍵となる聖句：「他のいかなる基礎も、イエス・キリストが据えられたもの以外に、人は据えることはできない。」
コリント人への第一の手紙3章11節

選択された聖句：
コリント人への第一の手紙3章9節～17節

建物がどれだけ美しく、構造的に堅固であっても、適切な基礎の上に建てられていなければ、長くは持ちません。ひび割れがすぐに現れ、床や壁が歪み、屋根が垂れ下がり、部品が崩れ始め、かつては人間の技の結晶として威風堂々としていた建造物は、使用不能な廃墟となり、破壊されるべき醜い残骸と化します。堅固で動かない基礎、水平で四角く、多くの世代にわたってその上に築かれたものを支えるに十分な基礎は、いかに重要でしょうか。まさにそのような確固たる永遠の基礎が、私たちに与えられています。その上に、神と彼の約束への信仰の構造を

築くための基礎です。使徒パウロが私たちの鍵となる聖句で教えているように、その基礎はイエス・キリストです。

この図をさらに展開して、使徒は「あなたがたは神の建物です」と書き、主の聖別された子供たち一人一人が、キリストという堅固な土台の上に、神に喜ばれる人格の構造を築いていることを強調しました。 - 1コリント人への手紙3章9節

この比喻の意味は、使徒パウロが「もしだれかがキリストにあるなら、その人は新しい被造物である」と書いたように、別の言葉で説明されています。

(コリント人への第二の手紙5:17) 私たちはどのようにしてキリストに入るのでしょうか？まず、彼について知り、彼が神の救いの計画における根本的な役割を理解しなければなりません。私たちは、天の父の愛の表現であり、自身の愛の表現として、イエスがアダムと彼を通じて裁かれた人類の失われた命の贖いとして、自らの命を捧げたことを認識しなければなりません。(ローマ人への手紙5章18節、19節；第一テモテ2章5節、6節) これは、イエスを私たちの贖い主として認識し、私たちの救いの基盤が築かれたことを意味します。

キリストが私たちために成し遂げられたことを真に理解し、心から信じることは、私たちの生活の

direction に大きな変化をもたらします。使徒は次のように説明しています：「キリストの愛が私たちを駆り立てるのです。なぜなら、私たちは次のように判断するからです。もし一人の方がすべての人々のために死んだのなら、すべての人々は死んだも同然です。そして、彼がすべての人々のために死んだのは、生きている人々がもはや自分自身のために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活された方のために生きるためです。」 - 2コリント人への手紙5章14節、15節

私たちの授業の文脈において、パウロはこの働きを、キリストの土台の上に「金、銀、宝石」で築くことに例えています。これは、彼の言葉の貴重な真理と約束を表しています。（1コリント人への手紙3:12）「私たちは彼の作品であり、キリスト・イエスにおいて良い行いをするために創造され、...それらを行うために歩むためです。」 - エペソ人への手紙2:10

キリスト教の成長における不可欠な要素の一つは、神の目に見えないものへの信仰です。パウロが手紙を書いたコリントの教会は、この点で困難を抱えていました。彼は彼らが「肉的な者」——つまり、地上的で人間的な視点を持っていると述べました。

その結果、彼らは目に見える人間的な指導者に過度の重視を置いていました。 - 1コリント3:1-4

ここには、与えられた土台の上にどのように築くかが重要であることが示されています。使徒は、一部の人々が「木、藁、藁の束」で人間の基準に従って築いていると暗示しています。これは肉の霊を表し、神の裁きに耐えられないものです。（12-15節）

パウロは、キリスト教徒の築き上げる仕事は、キリストと神の目に見えない指導を認識する土台の上に築かれる必要があることを知っていました。「では、パウロとは誰か。アポロとは誰か。あなたがたが信じた者たちの奉仕者ではないか。...私は植えた。アポロは水を注いだ。しかし、成長させたのは神である。」 - 1コリント人への手紙3章5節、6節